

※調査期間内において血液製剤を使用しなかった場合でも、この太枠内↓は必ず御記入の上、返送してください。

医療機関の名称	(法人名)	〒 _____ - _____	一般病床数	(令和5年12月時点)
	(医療機関名)		輸血療法委員会 (代替含む)	有 ・ 無
所在地	東京都	電話 _____ (内線 _____)	輸血管理料取得	I ・ II ・ 無
			適正使用加算	有 ・ 無
記入者	所属	氏名	血小板洗浄加算	有 ( _____ 件) ・ 無
				貯血式自己血輸血 管理体制加算
※次回(令和6年(2024年))の調査票について、ご希望の送付方法を選択してください。			★令和5年中の血液製剤 (血漿分画製剤を含む) の使用等有無	有 ・ 無
<input type="radio"/> 郵送 <input type="radio"/> e-mail(調査票送付先のアドレスを記入してください。)				

★令和5年中の血液製剤の使用等有無について「有」と答えた場合は、以下の設問へお進みください。



I 輸血用血液製剤使用状況 (年間総量)

※1「換算ユニット」欄(太枠内)には、バッグ数を200mL換算した数(単位:U(ユニット))を記入してください。  
 ※2 未照射製剤(日赤で未照射の製品)に記入した場合は、次頁「(再掲)欄」にも転記してください。

I 輸 血 用 血 液 製 剤 使 用 状 況	区 分	日 赤 製						
		200mL 由 来 (U)	400mL由来			成 分 由 来		
			バッグ数	200mL 換算	換算ユニット ※1 (U)	バッグ数	単位	換算ユニット (U)
全 血	※2 (未照射)人全血液-LR			×2 =				
	照射人全血液-LR			×2 =				
	小計	㉞		×2 =	㉟			
	全血合計 ㊸			㉞ + ㉟ =				
赤 血 球	※2 (未照射)赤血球液-LR			×2 =				
	照射赤血球液-LR			×2 =				
	(未照射)洗浄赤血球液-LR			×2 =				
	照射洗浄赤血球液-LR			×2 =				
	(未照射)解凍赤血球液-LR			×2 =				
	照射解凍赤血球液-LR			×2 =				
	(未照射)合成血液-LR			×2 =				
	照射合成血液-LR			×2 =				
	小計	㊿		×2 =	㋀			
	赤血球合計 ㊾			㊿ + ㋀ =				
使 用 血 小 板	※2 (未照射)濃厚血小板-LR (1単位)						×1 =	
	同 (2単位)						×2 =	
	同 (5単位)						×5 =	
	同 (10単位)						×10 =	
	同 (15単位)						×15 =	
	同 (20単位)						×20 =	
	照射濃厚血小板-LR (1単位)						×1 =	
	同 (2単位)						×2 =	
	同 (5単位)						×5 =	
	同 (10単位)						×10 =	
	同 (15単位)						×15 =	
	同 (20単位)						×20 =	

区分	日赤製						
	200mL由来 (U)	400mL由来			成分由来		
		バッグ数	200mL換算	換算ユニット (U)	バッグ数	単位	換算ユニット (U)
I 輸血用血液製剤使用状況 (続き)	※2 (未照射)濃厚血小板HLA-LR (10単位)					×10 =	
	同 (15単位)					×15 =	
	同 (20単位)					×20 =	
	照射濃厚血小板HLA-LR (10単位)					×10 =	
	同 (15単位)					×15 =	
	同 (20単位)					×20 =	
	照射洗浄血小板-LR (10単位)					×10 =	
	照射洗浄血小板HLA-LR (10単位)					×10 =	
血小板合計 ㉓							
区分	LR120	LR240			LR480		
新鮮凍結血漿-LR	㉔		㉕			㉖	
血漿合計 ㉗					㉔+㉕+㉖ =		
その他 ( )							
合計(A)	㉓+㉔+㉗ = (A)			(U)			
	(A) = (B) 4/9頁						

※ 合計(A)欄は、(4/9)頁「V 疾病別輸血状況」合計(B)欄と同数になります。

## 再掲

### 未照射製剤について

上記「I 輸血用血液製剤使用状況」(全血・赤血球・血小板)のうち、未照射製剤の記入分を転記してください。

注) GVHD予防のために、日赤製未照射製剤を、院内で放射線照射をしたもの

区分	日赤製						
	200mL由来 (U)	400mL由来			成分由来		
		バッグ数	200mL換算	換算ユニット (U)	バッグ数	単位	換算ユニット (U)
人全血液-LR			×2 =				
赤血球液-LR			×2 =				
洗浄赤血球液-LR			×2 =				
解凍赤血球液-LR			×2 =				
合成血液-LR			×2 =				
血小板(1単位~20単位の合計)							

### 血漿製剤について

上記「I 輸血用血液製剤使用状況」の「新鮮凍結血漿-LR」を使用した

同種クリオプレシピテート作製本数を記入してください。

新鮮凍結血漿-LR240	新鮮凍結血漿-LR480
本	本

II 院内採血(自己血は含みません。)

※ 院内で採取した輸血用血液(院内血)について記入してください。

注) 院内血の輸血は 特別な事情のない限り行うべきでなく、GVHD予防のため、原則として放射線照射が必要です。  
別添:東京都輸血状況調査要領2ページ II 院内採血 を参照してください。

II 院内採血	供血者受付数	(人)			
	採血者数	(人)	採血量	(U)	← 200mL換算したユニット数
	採血不適合者数	(人)	検査落ち数	(U)	
連続血液分離装置	○ 有 ( 台 )                      ○ 無				

院内血使用状況

白血球濃厚液を使用した実績がある場合(病院製)	◎	(U)
※病院製血液製剤の使用バッグ数を200mL換算した数(単位:U(ユニット))を記入してください。		
使用対象数	顆粒球輸血	(人)
	ドナーリンパ球輸注	(人)

III 医療種別

※1 実施症例数は、実数を記入してください。

※2 使用量の欄には、血漿交換療法、生体肝移植それぞれで使用した製剤について記入してください。

※3 アルブミン製剤の使用量については、使用本数を **g換算**して記入してください。

(別添:東京都輸血状況調査要領3ページIII参照)

III	医療種別	※1 実施症例数	実施症例回数	血液製剤	※2 使用量(単位)
医療種別	血漿交換療法	例	回	赤血球製剤	(U)
				血漿製剤	(U)
				※3 アルブミン製剤	(g)
	生体肝移植	例	回	赤血球製剤	(U)
				血漿製剤	(U)
				※3 アルブミン製剤	(g)

IV 製剤別購入量・廃棄量 ※こちらの回答を元に指導を行うものではありません。

IV	血液製剤名	(a)購入量	(b)廃棄量	廃棄率 (b)/(a)×100
購入量・廃棄量	全血製剤	(U)	(U)	%
	赤血球製剤	(U)	(U)	%
	血小板製剤	(U)	(U)	%
	血漿製剤	(U)	(U)	%
	合計	(U)	(U)	%

(b)廃棄量 廃棄理由別内訳					
ア:有効期限までに使用しなかった。 イ:破損又は保管環境に問題が生じ、使用できなくなった。 ウ:その他					
全血製剤	ア	(U)	イ	(U) ウ	(U)
赤血球製剤	ア	(U)	イ	(U) ウ	(U)
血小板製剤	ア	(U)	イ	(U) ウ	(U)
血漿製剤	ア	(U)	イ	(U) ウ	(U)
合計	ア	(U)	イ	(U) ウ	(U)



VI 年代別及び男女別輸血状況

※人数を記入してください。

※0～4歳、5～9歳の分類ができない場合は、こちらに記入してください。

VI 年代別及び男女別輸血状況		0～9歳 計 ※		10～19歳	20～29歳	30歳～39歳	40～49歳
		内 0～4歳	内 5～9歳				
	男	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
	女	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
		50～59歳	60～69歳	70歳以上 計 ※			合計
				内 70～79歳	内 80～89歳	内 90歳以上	
男	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
女	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	

※70歳以上の分類ができない場合は、こちらに記入してください。

VII 自己血輸血

※「採血量」、「使用量」及び「診療科別輸血状況」欄(太枠内)には、200mLを1単位とし換算した数(単位:U(ユニット))を記入してください。

※手術室で使用した自己血についても併せて、記入してください。

※「自己クリオプレシピテート作製」は、本数を記入してください。

VII 自己血輸血状況	実 施 状 況	方 式		実施症例数	うち同種血の併用例	採血量 (貯血量)	使用量 (輸血量)
		貯 血 式	液状保存				
			凍結保存	( 例 )	(U)	(U)	
		回 収 式	( 例 )		(U)		
		希 釈 式	( 例 )		(U)	(U)	
合 計	( 例 )		(U)	合計 (C) (C)=(D) (U)			
血 輸 血 状 況	診 療 科 別 輸 血 状 況	整形外科	脳神経外科	呼吸器外科	消化器外科	心臓血管外科	産科・婦人科
		(U)	(U)	(U)	(U)	(U)	(U)
				泌尿器科	歯科口腔外科	その他	合計(D) (D)=(C) (U)
		(U)	(U)	(U)	(U)	(U)	
自己クリオプレシピテート作製		用手法		本			
		調製装置法		本			

東京都輸血状況調査票(令和5年1月~12月)

VII 血漿分画製剤使用状況(年間総量)

[血漿分画製剤①] 使用本数を記入してください。

(6/9)

分類		規格	製剤名	使用数(本)				
グ ロ ブ リ ン  製 剤	筋注用免疫グロブリン	15%3mL	ガンマグロブリン筋注450mg/3mL「タケダ」(「ニチャク」) グロブリン筋注450mg/3mL「JB」					
		15%10mL	ガンマグロブリン筋注1500mg/10mL「タケダ」(「ニチャク」) グロブリン筋注1500mg/10mL「JB」					
	静注用免疫グロブリン	500mg	500mg	献血ベニロン-I静注用500mg 献血グロベニン-I静注用500mg 献血ポリグロビンN5%静注0.5g/10mL 献血ヴェノグロブリンIH5%静注0.5g/10mL 献血ヴェノグロブリンIH10%静注0.5g/5mL				
			1g	1g	献血ベニロン-I静注用1000mg 献血ヴェノグロブリンIH5%静注1g/20mL			
				2.5g	2.5g	献血ベニロン-I静注用2500mg 献血グロベニン-I静注用2500mg 献血ポリグロビンN5%静注2.5g/50mL 献血ポリグロビンN10%静注2.5g/25mL 献血ヴェノグロブリンIH5%静注2.5g/50mL 献血ヴェノグロブリンIH10%静注2.5g/25mL ピリヴィジェン10%静注2.5g/25mL		
			5g		5g	献血ベニロン-I静注用5000mg 献血グロベニン-I静注用5000mg 献血ポリグロビンN5%静注5g/100mL 献血ポリグロビンN10%静注5g/50mL 献血ヴェノグロブリンIH5%静注5g/100mL 献血ヴェノグロブリンIH10%静注5g/50mL ガンマガード静注用5g ピリヴィジェン10%(点滴)静注5g/50mL		
					10g	10g	献血ポリグロビンN10%静注10g/100mL 献血ヴェノグロブリンIH5%静注10g/200mL 献血ヴェノグロブリンIH10%静注10g/100mL ピリヴィジェン10%(点滴)静注10g/100mL	
						20g	献血ヴェノグロブリンIH10%静注20g/200mL ピリヴィジェン10%(点滴)静注20g/200mL	
		皮下注用免疫グロブリン		1g 5mL	ハイゼントラ20%皮下注1g/5mL			
			2g 10mL	ハイゼントラ20%皮下注2g/10mL				
			4g 20mL	ハイゼントラ20%皮下注4g/20mL				
		特殊免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	200単位	乾燥HBグロブリン筋注用200単位「ニチャク」 抗HBs人免疫グロブリン筋注200単位/1mL「JB」 ヘブスブリン筋注用200単位			
				1000単位	1000単位	乾燥HBグロブリン筋注用1000単位「ニチャク」 抗HBs人免疫グロブリン筋注1000単位/5mL「JB」 ヘブスブリン筋注用1000単位 ヘブスブリンIH静注1000単位		
					250単位	250単位	破傷風グロブリン筋注用250単位「ニチャク」 テタノブリン筋注用250単位 テタノブリンIH静注250単位 テタガムP筋注シリンジ250	
	1500単位			テタノブリンIH静注1500単位				
	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン		1000倍	1000倍	抗Dグロブリン筋注用1000倍「ニチャク」 抗D人免疫グロブリン筋注用1000倍「JB」			
				12mg 1.5mL	ヒスタグロビン皮下注用			

東京都輸血状況調査票(令和5年1月~12月)

[血漿分画製剤① 続き] 使用本数を記入してください。

(7/9)

分類	規格	製剤名	使用数(本)	
蛋白質製剤	5%100mL	献血アルブミン5%静注5g/100mL「JB」		
	5%250mL	アルブミン-5%静注12.5g/250mL		
		献血アルブミン5%静注12.5g/250mL「タケダ」(「ニチャク」) 献血アルブミン5%静注12.5g/250mL「JB」		
	20%20mL	献血アルブミン20%静注4g/20mL「タケダ」(「ニチャク」) 献血アルブミン20%静注4g/20mL「JB」		
		献血アルブミン20%静注10g/50mL「タケダ」(「ニチャク」)		
	20%50mL	献血アルブミン20%静注10g/50mL「JB」		
		献血アルブミン20%静注10g/50mL「KMB」 アルブミン-ベアリング20%静注10.0g/50mL		
	25%20mL	献血アルブミン25%静注5g/20mL「ベネシス」		
		献血アルブミン25%静注12.5g/50mL「KMB」 アルブミン-25%静注12.5g/50mL		
	25%50mL	献血アルブミン25%静注12.5g/50mL「タケダ」(「ニチャク」) 赤十字アルブミン25%静注12.5g/50mL 献血アルブミン25%静注12.5g/50mL「ベネシス」		
加熱人血漿				
蛋白	100mL	献血アルブミン-4.4%静注4.4g/100mL		
	250mL	献血アルブミン-4.4%静注11g/250mL		
血液凝固因子製剤	第Ⅶ因子 (遺伝子組換)	Ⅶ <sup>α</sup> 因子α 1mg	ノボセプンH I 静注用1mg	
		Ⅶ <sup>α</sup> 因子α 2mg	ノボセプンH I 静注用2mg	
		Ⅶ <sup>α</sup> 因子α 5mg	ノボセプンH I 静注用5mg	
	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子加活性化第Ⅶ因子	1.5mg	バイクロット配合静注用	
	第Ⅷ因子 (血漿由来)	250単位	コンファクトF 静注用(注射用)250 クロスエイトMC 静注用250単位	
		500単位	コンファクトF 静注用(注射用)500 クロスエイトMC 静注用500単位 コンコエイト-HT	
		1000単位	コンファクトF 静注用(注射用)1000 クロスエイトMC 静注用1000単位	
		2000単位	クロスエイトMC 静注用2000単位	
		3000単位	クロスエイトMC 静注用3000単位	
	第Ⅷ因子 (遺伝子組換)	リクトコグアルファ 250単位	アドベイト静注用キット250	
		リクトコグアルファ 500単位	アドベイト静注用キット500	
		リクトコグアルファ 1000単位	アドベイト静注用キット1000	
		リクトコグアルファ 1500単位	アドベイト静注用キット1500	
		リクトコグアルファ 2000単位	アドベイト静注用キット2000	
		リクトコグアルファ 3000単位	アドベイト静注用キット3000	
		リクトコグアルファ 250単位	ノボエイト静注用250	
		リクトコグアルファ 500単位	ノボエイト静注用500	
		リクトコグアルファ 1000単位	ノボエイト静注用1000	
		リクトコグアルファ 1500単位	ノボエイト静注用1500	
	第Ⅷ因子 (遺伝子組換)	リクトコグアルファ 2000単位	ノボエイト静注用2000	
リクトコグアルファ 3000単位		ノボエイト静注用3000		
コクトグヘータ 250単位		コバルトトリイ静注用250		
コクトグヘータ 500単位		コバルトトリイ静注用500		
コクトグヘータ 1000単位		コバルトトリイ静注用1000		
コクトグヘータ 2000単位		コバルトトリイ静注用2000		
コクトグヘータ 3000単位		コバルトトリイ静注用3000		
イロクトコグアルファ 250単位		イロクテイト静注用250		
イロクトコグアルファ 500単位		イロクテイト静注用500		
イロクトコグアルファ 750単位		イロクテイト静注用750		
第Ⅷ因子 (遺伝子組換)	イロクトコグアルファ 1000単位	イロクテイト静注用1000		
	イロクトコグアルファ 1500単位	イロクテイト静注用1500		
	イロクトコグアルファ 2000単位	イロクテイト静注用2000		
	イロクトコグアルファ 3000単位	イロクテイト静注用3000		
	イロクトコグアルファ 4000単位	イロクテイト静注用4000		
	エイフスチラ 250単位	エイフスチラ静注用250		
	エイフスチラ 500単位	エイフスチラ静注用500		
	エイフスチラ 1000単位	エイフスチラ静注用1000		
	エイフスチラ 1500単位	エイフスチラ静注用1500		
	エイフスチラ 2000単位	エイフスチラ静注用2000		
第Ⅷ因子 (遺伝子組換)	エイフスチラ 2500単位	エイフスチラ静注用2500		
	エイフスチラ 3000単位	エイフスチラ静注用3000		
	エイフスチラ 3000単位	エイフスチラ静注用3000		

## 東京都輸血状況調査票(令和5年1月～12月)

〔血漿分画製剤① 続き〕 使用本数を記入してください。

(8/9)

	分類	規格	製剤名	使用数(本)	
血	第Ⅷ因子 (遺伝子組換)	ルリオクトコグアルファ <sup>®</sup> コグ	250単位	アディノベイト静注用キット250	
		〃	500単位	アディノベイト静注用キット500	
		〃	1000単位	アディノベイト静注用キット1000	
		〃	1500単位	アディノベイト静注用キット1500	
		〃	2000単位	アディノベイト静注用キット2000	
		〃	3000単位	アディノベイト静注用キット3000	
		ダモクトコグアルファ <sup>®</sup> コグ	500単位	ジビイ静注用500	
		〃	1000単位	ジビイ静注用1000	
		〃	2000単位	ジビイ静注用2000	
		〃	3000単位	ジビイ静注用3000	
		ツロクトコグアルファ <sup>®</sup> コグ	500単位	イスパロクト静注用500	
		〃	1000単位	イスパロクト静注用1000	
		〃	1500単位	イスパロクト静注用1500	
		〃	2000単位	イスパロクト静注用2000	
		〃	3000単位	イスパロクト静注用3000	
		シエクコグアルファ	250単位	ヌーイック静注用250	
		〃	500単位	ヌーイック静注用500	
		〃	1000単位	ヌーイック静注用1000	
		〃	2000単位	ヌーイック静注用2000	
		〃	2500単位	ヌーイック静注用2500	
〃	3000単位	ヌーイック静注用3000			
〃	4000単位	ヌーイック静注用4000			
固	第Ⅷ因子機能代替 (遺伝子組換)	エシマ <sup>®</sup> マブ	30mg	ヘムライブラ皮下注30mg	
		〃	60mg	ヘムライブラ皮下注60mg	
		〃	90mg	ヘムライブラ皮下注90mg	
		〃	105mg	ヘムライブラ皮下注105mg	
		〃	150mg	ヘムライブラ皮下注150mg	
因	第Ⅸ因子 (血漿由来)	ヒト・フォン <sup>®</sup> イルブラント <sup>®</sup> 因子(遺伝子組換) ホニコ <sup>®</sup> アルファ	1300単位	ボンベンディ静注用1300	
		〃	400単位	クリスマシンM静注用400単位	
		〃	500単位	ノバクトM静注用500単位	
		〃	1000単位	ノバクトM静注用1000単位	
		〃	2000単位	クリスマシンM静注用1000単位	
		〃	2000単位	ノバクトM静注用2000単位	
		複合体	200単位	P P S B - H T 静注用200単位「タケダ」(「ニチヤク」)	
		複合体	500単位	ケイセントラ静注用500	
		〃	500単位	P P S B - H T 静注用500単位「タケダ」(「ニチヤク」)	
		複合体	1000単位	ケイセントラ静注用1000	
製	第Ⅸ因子 (遺伝子組換)	ナコ <sup>®</sup> アルファ	500単位	ベネフィクス静注用500	
		〃	1000単位	ベネフィクス静注用1000	
		〃	2000単位	ベネフィクス静注用2000	
		〃	3000単位	ベネフィクス静注用3000	
		エフトレノコ <sup>®</sup> アルファ	250単位	オルプロリクス静注用250	
		〃	500単位	オルプロリクス静注用500	
		〃	1000単位	オルプロリクス静注用1000	
		〃	2000単位	オルプロリクス静注用2000	
		〃	3000単位	オルプロリクス静注用3000	
		〃	4000単位	オルプロリクス静注用4000	
		アルト <sup>®</sup> レ <sup>®</sup> ナコ <sup>®</sup> アルファ	250単位	イデルビオン静注用250	
		〃	500単位	イデルビオン静注用500	
		〃	1000単位	イデルビオン静注用1000	
		〃	2000単位	イデルビオン静注用2000	
		〃	3500単位	イデルビオン静注用3500	
		ナコ <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> -タ <sup>®</sup> コグ	500単位	レフィキシア静注用500	
		〃	1000単位	レフィキシア静注用1000	
		〃	2000単位	レフィキシア静注用2000	
		第ⅩⅢ因子(血漿由来)	240単位	フィブロガミンP静注用	
		〃(遺伝子組換)	カリテ <sup>®</sup> カコ <sup>®</sup>	2500単位	ノボサーティーン静注用2500
フィブリノゲン	1g	フィブリノゲンH T 静注用1g「JB」			
乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体	1000単位	ファイバ静注用1000			

# 東京都輸血状況調査票(令和5年1月～12月)

〔血漿分画製剤① 続き〕 使用本数を記入してください。

(9/9)

分類	規格		製剤名	使用数(本)	
血液凝固因子関連製剤	アンチトロンビン (血漿由来)	人アンチトロンビンⅢ	500単位	ノイアート静注用500単位 献血ノンスロン500注射用	
			1500単位	ノイアート静注用1500単位 献血ノンスロン1500注射用	
	アンチトロンビン (遺伝子組換)	アンチトロンビンγマ	600単位	アコアラン静注用600	
			1800単位	アコアラン静注用1800	
その他	人ハプトグロビン		2000単位	ハプトグロビン静注「JB」	
	乾燥濃縮人活性化プロテインC		2500単位	注射用アナクトC 2500単位	
	乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500単位	ペリナートP静注用500		
		2000単位	ペリナートP皮下注用2000		
(記載されていない製剤がある場合はこちらへ記入してください)					
合 計				本	

\* 名称変更経過措置期間中の製剤は、旧名称を( )に記載。

〔血漿分画製剤②〕 使用本(枚)数を記入してください。

分類	規格	製剤名	使用数(本)	(枚)	
組織接着剤	フィブリノゲン加第XⅢ因子	0.5mL	ベリブラストP		
		1mL	ベリブラストP		
		3mL	ベリブラストP		
		5mL	ベリブラストP		
		0.5mL	ボルヒール		
	フィブリノゲン配合剤	1mL	ボルヒール		
		2mL	ボルヒール		
		3mL	ボルヒール		
		5mL	ボルヒール		
		3.0×2.5cm	タコシール		
4.8×4.8cm	タコシール				
9.5×4.8cm	タコシール				
合 計				本 (枚)	

御協力ありがとうございました！

記入もれ、記入誤りはありませんか？一度、御確認ください。

回答期限：令和6年2月26日(月曜日)

東京都輸血状況調査票

令和6年1月発行 登録番号(5)87

東京都保健医療局保健政策部疾病対策課

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 03(5320)4506



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。